

読売新聞 きょう（1月12日）のイチ押し

1面 関西3府県に緊急事態 政府あすにも発令

政府は新型コロナウイルスの感染が拡大している大阪、京都、兵庫の関西3府県について、緊急事態宣言の対象区域に追加する方向で調整に入りました。13日にも発令する見通しです。

- ★ 菅首相は11日、田村厚生労働相や西村経済再生相、加藤官房長官らと協議し、宣言発令の必要性を確認したとみられます。近く専門家の意見を聞き、正式に発令を決定する予定です。
- ★ 3府県の感染状況は厳しさを増しています。最近1週間の新規感染者数は、最も感染状況が深刻な「ステージ4」に該当する水準です。

1・社会面など 天理大初V 関西勢36大会ぶり

ラグビー全国大学選手権（本社後援）で、天理大が初優勝しました。関西勢の優勝は、1984年度に同志社大が3連覇を飾って以来、36大会ぶり。部員の新型コロナ集団感染という困難を乗り越えての偉業です。

- ★ 大学ラグビーでは、名門の多い関東に有望な高校生が流出し、「東高西低」が続いていました。天理大は、流れるようなパスをつなぐテンポの良いプレーを磨いて徐々にレベルアップし、個の能力で見劣りしても運動量で補うことで「打倒・関東」を実現しました。
- ★ 新型コロナでは、昨年8月に部員が暮らす寮でクラスターが発生し、1か月の活動休止になりました。それでも地元の人たちの応援に支えられて優勝を成し遂げただけに、喜びもひとしおのようです。

他紙と比べて

ソフトバンクの高速・大容量通信規格「5G」に関する営業秘密を持ち出したとして、警視庁が元社員の40歳代の男性技術者を不正競争防止法違反で捜査していることが分かりました。男は同社を退社してすぐ、同業の「楽天モバイル」に転職しているようです。警視庁は近く本格的な捜査に乗り出します。本紙の特ダネです。